

インフォメーション

登録衛生検査所 臨床 宮崎

TEL0985-52-6688 FAX0985-52-8093

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
さて、この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始致しますのでご案内申し上げます。
ご利用、ご用命の程、承賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

記

● 新規受託項目：

■ アレルゲン刺激性遊離ヒスタミン（HRT） アトピー性皮膚炎

特異的 IgE 検査は、血液中の特異的 IgE の抗体量を検査するのに対し、HRT では、特異的 IgE 抗体と結合した細胞（好塩基球）が原因アレルゲンと反応して、アレルギー症状を引き起こす原因物質であるヒスタミンを遊離したかどうかを検査するので、同じ *in vitro* の検査でありながら、特異的 IgE 検査よりも生体内の反応をよりの確に反映するという特徴があります。

また、採取した血液を調べるため、アナフィラキシーショックなどの危険性がある負荷試験よりも安全に実施ができます。なお、アトピー性皮膚炎の悪化因子とされる【ヒト汗】は、HRTのみ測定可能なアレルゲンです。

◆ 受託開始期日：平成 26 年 8 月 1 日（金）受付分より

※ 詳細につきましては裏面をご参照下さい

■ アレルゲン刺激性遊離ヒスタミン(HRT)アトピー性皮膚炎

◆ アレルゲン刺激性遊離ヒスタミン(HRT)

HRT (Histamine Release Test) は、「(好塩基球) ヒスタミン遊離試験」とも言われている I 型 (即時型) アレルギーの検査です。HRT では、採取した血液中から分離した好塩基球という細胞にアレルゲンを添加し、そのとき放出されたヒスタミンの量を測定し、アレルゲンに対する反応性を見ています。

	特異的 IgE	HRT	負荷試験
	<i>n vitro</i>		<i>n vitro</i>
侵襲性	少ない (採血のみ)		あり (アナフィラキシーなど)
特徴	原因アレルゲンではなく、感作の有無を表現している	生体内の反応を IgE より、反映した検査	臨床症状と完全に一致

◆ HRT が有用と考えられる症例

1、重篤な症状の患者さんに

食物を負荷することで強い症状を誘発するリスクが高いと思われる患者さんの場合は、負荷試験を行わずに抗原診断の補助検査として使用できます。

2、耐性獲得の推定のために

アナフィラキシーショック既往がある鶏卵、牛乳、小麦アレルギー児の耐性獲得確認の負荷試験を実施したところ、負荷試験が陰性の症例では、特異的 IgE 検査は陽性、HRT は陰性でした。

つまり、I 型アレルギーの既往歴がある患者さんでは特異的 IgE の結果に改善がみられなくても HRT を実施することで耐性獲得の可能性を予測することができます。この情報を活用して、負荷試験実施の決定の参考になります。

負荷試験実施前の確認検査として定着してきています。

3、汗アレルギーの患者さんに ~アトピー性皮膚炎の原因特定に~

HRT で測定できるアレルゲンとして特徴的なものに「ヒト汗」アレルゲンがあります。特異的 IgE 検査にないアレルゲンなので、あまり聞きなじみがないアレルゲンかもしれません。

アトピー性皮膚炎の患者さんでは、ヒト汗抗原に対して陽性を示す患者さんが約 8 割もいるという報告があります (Tanaka A, et al:Exp Dermatol 15: 283-290, 2006)。アトピー性皮膚炎では、自分の汗に過敏に反応し、皮膚症状が悪化すると言われていましたが、最近、この「ヒト汗」のアレルゲンの正体は、健常人にも常在するカビの一種が産生する蛋白である事がわかり話題になりました。

ヒト汗アレルゲンが陽性の患者さんには、まめにシャワーを浴びるなどのスキンケアをお勧めすることができます。

◆ 特異的 IgE との比較

	HRT (ヒスタミン遊離試験)	特異的 IgE																														
測定意義	<i>n vivo</i> (生体内) では、人体で起こる反応を直接観察することが出来るが、重症な副作用をきたす危険性もある。特異的 IgE は、安全に検査できるが、臨床症状を反映しない場合がある。 HRT は <i>in vitro</i> (試験管内) で I 型アレルギーを確認する検査である。食物負荷試験は、熟練医師の監督下で実施する必要があるが、この検査は採血のみでリスクの予測が可能である。特異的 IgE には無い、ヒトの汗に対するアレルギーがある。	I 型アレルギーは IgE 依存型と呼ばれ、IgE が大きく関与するアレルギー反応である。 アレルギー患者における生体内の原因アレルギーの同定及びそれに基づいた アレルギーの除去・回避等の原因療法に利用されている。 抗体種が約 190 と大変多くのアレルギーがある。																														
測定原理	好塩基球に含まれる総ヒスタミン量を用いてヒスタミン遊離率を算出し、20%をカットオフとする。 アレルギーの濃度順に 5 系列の遊離率を算出し、各々の遊離率を折れ線グラフで結んだ遊離曲線、及び カットオフ値から判断したクラス分類により解釈する。	アレルギーを結合したスポンジと検体中の特異的 IgE を反応させ、その複合物を標識抗体と反応させ抗体量を測定。血清中のアレルギーに対する特異的免疫グロブリン E (IgE) 量を測定。抗体濃度によりクラス判定を行う。																														
検出標的	好塩基球	血清中 IgE 抗体																														
検査材料	EDTA-2Na 加血液 各セット 2.0mL	血清 各 0.3mL																														
測定方法	細胞反応測定法	FEIA																														
測定抗原数	少ないがオバלבミン・汗は HRT のみ	約 190 種																														
報告形態	<p style="text-align: center;">総ヒスタミン遊離量 (nmol/L)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>クラス</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td rowspan="3">陽性</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>擬陽性</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>陰性</td> </tr> </tbody> </table>	クラス	判定	4	陽性	3	2	1	擬陽性	0	陰性	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>クラス</th> <th>特異的 IgE 抗体価 (U_A/mL)</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>100 以上</td> <td rowspan="4">陽性</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>50.0~99.9</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>17.5~49.9</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3.50~17.4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.70~3.49</td> <td rowspan="3">擬陽性</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0.35~0.69</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0.34 以下</td> <td>陰性</td> </tr> </tbody> </table>	クラス	特異的 IgE 抗体価 (U _A /mL)	判定	6	100 以上	陽性	5	50.0~99.9	4	17.5~49.9	3	3.50~17.4	2	0.70~3.49	擬陽性	1	0.35~0.69	0	0.34 以下	陰性
クラス	判定																															
4	陽性																															
3																																
2																																
1	擬陽性																															
0	陰性																															
クラス	特異的 IgE 抗体価 (U _A /mL)	判定																														
6	100 以上	陽性																														
5	50.0~99.9																															
4	17.5~49.9																															
3	3.50~17.4																															
2	0.70~3.49	擬陽性																														
1	0.35~0.69																															
0	0.34 以下		陰性																													
実施料	各 168 点 上限 1430 点 (HRT・アトピー性皮膚炎は 840 点) 同時算定可能ですが、HRT・特異的 IgE 併せて上限 1430 点	各 110 点 上限 1430 点																														
判断料	免疫学的検査判断料 144 点																															

参考:各試薬説明書より

◆ 保険適用の概要

HRT は、「アレルギー刺激性遊離ヒスタミン (HRT)」として、検体検査実施料が 1 アレルギーあたり 168 点認められています。検体検査判断料は免疫学的検査判断料 144 点です。特異的 IgE と合わせて 1430 点まで算定することができるため、特異的 IgE 5 項目と HRT 5 項目が同時に実施可能です。

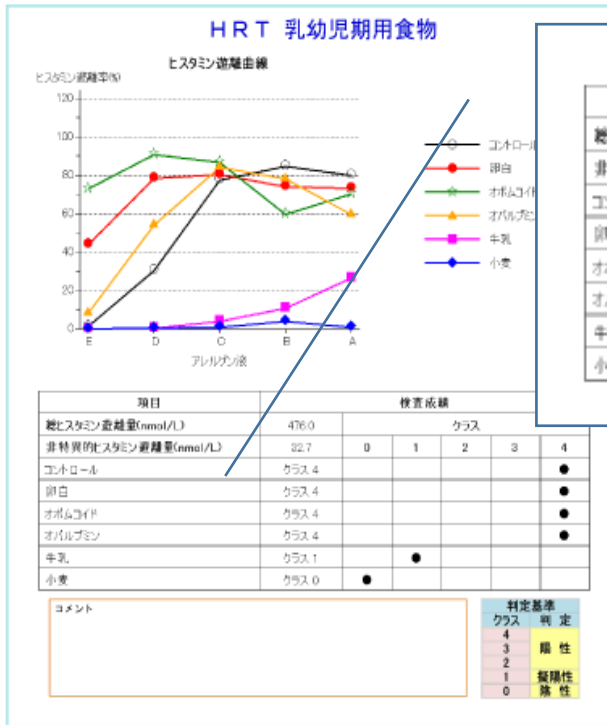
◆ 検査内容:

検査内容	
検査項目名	HRT(アトピー性皮膚炎)
採取容器	EDTA-2Na 5ml管
検体必要量	血液 2.0ml
保存方法	冷蔵
検査方法	細胞反応測定法
参考基準値 (単位)	クラス0 (陰性) (nmol/L)
測定項目	ヒト汗、ヤケヒョウヒダニ、ネコ上皮、イヌ皮膚、カンジダ
所要日数	4~6日
実施料 ※	815点 (D015 血漿蛋白免疫学的検査 16 (各 163点×5項目))
判断料 ※	免疫学的検査 144点
備考	検体採取後、当日中にご提出ください (採取前、事前に弊社までご連絡下さい) 受託可能日は月~金曜日(祝日を除く)の平日のみ

◆ 報告書見本

下記の【別紙報告書】にてご報告させていただきます。

SRL HRT 検査報告書		0705-0708-1 サービスコード 0463-06-46300-87553
氏名: SRL 997	性別: M 年齢: 1歳	採り日: 07月06日
採り日: 07月06日	受付日: 25年07月06日	報告日: 25年07月08日
材料: じんぐ	受付料: 400521	検査料: 09MT007200
病院名: エスアール エス	提出医: ドクター	科名: アレルギー (外来)
その他: 8001800100		



項目	検査成績				
ヒトヒスタミン遊離量(nmol/L)	476.0				
非特異的ヒスタミン遊離量(nmol/L)	32.7				
コントロール	クラス4				
卵白	クラス4				
オパールコイク	クラス4				
オパールブミン	クラス4				
牛乳	クラス1	●			
小麦	クラス0	●			

ご不明な点は弊社担当までお申し付け下さい

以上